

教育省、高校在学中に大学授業を受講する低所得家庭の生徒に対して  
「ペル・グラント」を支給する試験プログラムを来学年度から導入（10月30日）

教育省（Department of Education）は10月30日、高校在学中に大学の授業も受講する生徒を対象に、低所得層学生を対象とした連邦奨学金「ペル・グラント（Pell Grant）」の受給を認めるプログラムを2016-17学年度から試験的に導入することを発表した。全米で140万人以上の高校生が、大学単位取得可能な授業も受講しているが、特に、低所得層の生徒や家族内に過去に大学進学者のいなかった生徒では、高校在学中に大学の授業を受講することにより、高校卒業率・大学進学率・学位取得率が向上するとの研究結果が示されている。その一方で、大学授業の受講費用は自己負担の場合が多く、経済的負担から低所得層家庭の生徒の受講を妨げているとの問題もある。この問題を解消するために、同プログラムは、高校在学中に大学学位取得に必要な授業を受講する生徒の大学授業料に対し、規則上は高校生への支給が禁止されている「ペル・グラント」の支給を認めるという試みとなっている。教育省は、同プログラムに関する告知を、連邦官報（Federal Register）において近日中に公示する予定で、2016-17学年度には最高2,000万ドルを拠出し、最高1万人の低所得層生徒が同プログラムの恩恵を受けると見込まれている。

なお、連邦官報の公示の草稿は、

<[www2.ed.gov/documents/press-releases/draft-federal-register-pell-experimental-sites.doc](http://www2.ed.gov/documents/press-releases/draft-federal-register-pell-experimental-sites.doc)>からダウンロード可能。

Department of Education, Fact Sheet: Department of Education Launches Experiment to Provide Federal Pell Grant Funds to High School Students Taking College Courses for Credit

<https://www.ed.gov/news/press-releases/fact-sheet-department-education-launches-experiment-provide-federal-pell-grant-funds-high-school-students-taking-college-courses-credit>